



10月園だより

令和6年 10月1日

目黒区立大岡山保育園

園長

ようやく長い夏が終わり、秋らしい爽やかな風と青空が気持ちを晴れやかにしてくれるような季節の訪れにほっとしてします。

9月19日に運動会の3歳、4歳、5歳クラスの合同の練習をしました。クラスの出番の時以外は部屋からクーラーを効かせながらテラスで他クラスの演目を見たり、時間も短縮するなどの暑さ対策をして行いました。4歳は天狗下駄、5歳は竹馬と果敢にチャレンジしています。4歳児クラスは天狗下駄に苦戦していると、見ている友達が「〇〇がんばれー」と熱い応援が飛び交います。また、どのクラスも演舞(ダンス)に取り組み、とても生き生きと楽しんで踊っている姿が印象的でした。特に初めて見る年上のクラスの演目にはとても興味を持って、憧れの熱いまなざしで見えています。楽しむ場面とチャレンジの場面が織り込まれ、意欲的な取り組みの様子の練習となりました。運動会に向かって一人ひとりが自分の目標を持ち、到達できた時の喜びはかけがえのない喜びと自信につながります。そのためには壁にぶち当たること、自分と向き合うことの局面も出てきます。時には気持ちを向けていくことが難しい日も出てきます。大人や友達の励ましを受けながら乗り越えようとしていくこの機会や経験を大切に当日に臨んでいきたいと思えます。

工事のお知らせ

〇1・2階トイレ工事

※2歳児クラスは1階ホールで過ごします。

1歳児クラスは受け入れ時の手洗い、衣類棚の場所を変更します。

3、4、5歳児クラスのシーツかけの方法を変更します。

詳しくは掲示をご覧ください。

*ご不便をおかけいたしますがご協力お願いいたします。

今月の予定

運動会(2~5歳児クラス

※0、1歳児クラスは自由参加)

乳児内科健診 13:30~

芋ほり遠足(4、5歳児)

幼児内科健診 13:30~

焼き芋会(雨天の場合順延)

11月の予定

幼児お楽しみ会

歯科検診 9:30~



副園長のつぶやき ~第二の我が家~

保育園は集団生活ですが、その中でも自分のしたい遊びができたり、ほっと一休みするスペースがあったりすることで安心して過ごせるよう様々な工夫をしています。

幼児クラスには子どもたちのやりたいことに合わせて、店員さんの衣装や商品、メニュー表、バスケットボールのゴール、信号、駅、運転手さんの帽子…など色々な手作りの遊具が準備してあります。保育士と子どもたちが一緒に作ったものも多く、何日も続けて遊んでいます。登園した時に少し元気のない日でも、好きな遊びの続きができることで子どもたちは笑顔になり、いつの間にか夢中で遊んでいます。

乳児クラスでは、遊具の入っていない棚が自分だけのホッとする場所になっています。体を丸めて中に入り、しばらく充電しているようです。布をカーテンのようにつけてあげると「ばー」と嬉しそうに顔を出すのも可愛いです。また、時にはカゴの中のオモチャを「ぜんぶつかいたい」と言うこともあります。保育士は「そうだよ」とうなずき、満足するまで見守ることもあります。

自分の好きな遊び、一人になれる空間、気持ちを理解してくれる人、保育士の膝の上や背中なども全てが子どもたちの安心できる場所です。保育園が子どもたちにとっての第二の我が家となるように、これから一人ひとりの思いが叶えられるような工夫を大切にしていきたいです。

乳児クラスの運動遊び

いちご組

いちご組の部屋からバナナホールまで、歩きや這い這いなど自分の力で移動できるようになってきました。ホールに入るとトンネルや斜面板、マットの山などが設定されているのを見て、目をキラキラさせながら自分の好きな場所へ向かっています。斜面に行き、よじ登ったり、滑ったり、トンネルでは反対側に見える保育士のところまで這い這いしています。しばらく遊んで慣れてきたのでトンネルの中にマットで段差を作ってみました。その盛り上がった段差のところが大きな山に見えるのか手前で立ち止まってしまふ子がいます。反対側から保育士が「おいで、こっちだよー」と声をかけ続けると、ついに一歩が出て這い這いで乗り越えることができ、みんなから拍手をもらい、とても嬉しそうな表情をしています。個々の月齢差がある0歳児クラスですが、子どもたちの成長が運動遊びの中でも感じられます。これからも保育士と一緒に体を動して遊びながら楽しさに共感していきたいです。



もも組

紙パックで作った箱馬は、乗ったり押したりして遊べる子どもたちの大好きな遊具です。足でしっかり地面を蹴ってバランスもとりながら上手に進めるようになりました。「しゅっぱーつ」とおでかけのつもりで箱馬に乗り、自分の行きたいところに進んでいくのが楽しい様子です。また、くまの人形を乗せるとベビーカーのように押して進んでいます。その友達の姿を見て「自分もやりたい」とくまの人形を持ってきて、箱馬に乗せると自分も乗って二人乗りのように楽しむ子もいました。部屋をぐるっと一周し、棚の空きスペースに箱馬に乗ったまま入っていきこうとしますが、1センチ程の少しの段差につまづき止まってしまいます。最初は足で何度も蹴って段差を登ろうとしましたが、自分で考え箱馬の前を持ち上げて段差を乗り越えていました。「入れたね」と保育士が声を掛けると満足そうににっこり笑い、今度はバックで進み出かけていきました。好きな遊びを楽しむ中で、「やってみたい」気持ちに寄り添いながら、たくさん体を動かし遊ぶことを楽しんでいきます。



りんご組

室内でも体を動かして遊べるようにマットや肋木滑り台を設定して遊んでいます。他にも大ホールで跳んだり走ったりするリズム遊びも日々楽しんでいて「今日リズムする?」「ホール行く?」と子どもたちから声上がるほど大好きです。リズム遊びの中でも子どもたちがお気に入りなのは電車になって走る動きです。ピアノの音に合わせて加速したり止まったりしながら走ります。ある子が「ぼくは急行電車になる」と呟くと、その呟きを聞いた他の子どもたちも「はやぶさになる」「新幹線になる」と思い思いにイメージした電車になりきって走ることを楽しんでいました。また、一緒に走る保育士に追いつかれないようにニコニコしながら後ろを振り返って速く走ろうとしたり、走りながら「みて、速いでしょ?」と速く走れることを得意気な顔で聞いてみたり、夢中になって走る子どもたちの姿は生き生きとしています。体を動かす楽しさやイメージに共感していきながら、子どもたちと全身を使って思い切り遊ぶことを楽しんでいきたいと思います。

